ニュース専修
●「専修大学」ホームページ● http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3－8
☎03-3265-5819（直）

小田急電鉄と連携協定

双方の人的・知的資源活用し地域社会に貢献

専修大学と小田急電鉄株式会社は、相互が持つ人的資源、知的資産を活用した教育・研究、社会貢献活動の促進へ「連携・協力に関する基本協定」を締結した。寄付講座や学生のインターンシップなどに協力して取り組む。

寄付講座やインターンシップを強化

4月20日、東京・新宿区の小田急電鉄本社で、専修大学の日高義博学長・理事長と小田急電鉄の山木利満社長が協定に調印した。

本学の生田キャンパスは小田急線の向ヶ丘遊園駅を最寄り駅としている。

専修大学は21世紀ビジョン「社会知性の開発」を掲げ、教育・研究の充実に努めるとともに、地域社会への貢献活動を推進している。

小田急電鉄は、企業の社会的責任（CSR）を経営の根幹に掲げ、小田急線沿線を中心に小田急グループによる広域的な事業を展開、社会貢献活動を積極的に進めている。

小田急電鉄との協定により、専修大学は学術・研究のさらなる充実を目指し、大学の持つ知的資産の地域社会への発信を一層進めていく。

連携・協力の具体的な内容は▽学生インターンシップ強化▽寄付講座開設▽学術研究や教育活動の実践――などだ。

同社は専修大と川崎市が運営する市民向け講座「KSソーシャル・ビジネス・アカデミー」にも講師を派遣。また、課題解決型のインターンシッププログラムにも取り組む。同社が提示したテーマ「若い世代へ発信!!〝将来、小田急沿線に住みたい!〟と感じてもらえる企業PRの企画・立案」に沿い、学生14人が提案をまとめる。

▲ 調印式で握手する日高学長・理事長（左）と山木小田急電鉄社長

「小田急グループは地域とともに発展」

大須賀会長が第1回寄付講座で講義

4月24日から専修大学生田キャンパスで、小田急電鉄による寄付講座「地域と共生する小田急グループのCSRと事業戦略」（担当・徳田賢二経済学部教授＝前期開講、経済・法・経営・商の4学部対象）が始まった。

第1回の講師は大須賀頼彦小田急電鉄会長。

同会長は「小田急グループの過去・現在・未来」をテーマに、鉄道をはじめとする小田急グループの歴史や、地域とともに発展を目指してきた同社の経営理念について講演した。

会長は、詰めかけた300人の学生に「最近の若者は失敗を恐れるあまり困難なことに挑戦しないようだ。なんでも見て、トライしようという前向きの姿勢が大切。自分の人生を誇れるように積極的に学生生活を過ごしてほしい」とメッセージを送った。

講座終了後は徳田ゼミ生12人と懇談。大須賀会長はゼミ生からのさまざまな質問に、自身の体験を交えながら応じていた。

▲ 300人の学生に講義する大須賀小田急電鉄会長

ご愛読ありがとうございます
「ニュース専修」500号（3面に関連記事）

主なニュース

ネットワーク情報学部学習成果を発表／経営学部創立50周年記念事業 ❷
2012年度学校法人専修大学事業計画・予算 ❹❺
教養ゼミ・佐竹弘靖ゼミ寄稿「アルメニア探訪記」 ❻
寄稿「伊シエナ　元気の素はコントラーダ」
大林守商学部教授 ❼
新入生歓迎セミナー／新入留学生合宿オリエンテーション ❾
石巻専修大学 NHK・Eテレに経営学部生が出演 ❿

「はじめて観るマニュスクリプト―世界でひとつという魅力」

日本有数の西洋写本所蔵を誇る
図書館で貴重資料の展示会始まる

『ポリクロニコン』『薔薇物語』など47点

専修大学図書館春の企画展示「はじめて観るマニュスクリプト―世界でひとつという魅力」が5月9日から生田キャンパス図書館で始まった。

展示は本学図書館が所蔵するマニュスクリプト（西洋の写本）など47点。マニュスクリプトは歴史書『ポリクロニコン』、寓意（ぐうい）物語『薔薇物語』など10点が展示されているほか、ケルムスコット版のチョーサー『作品集』、アルドゥス版のダンテ『神曲』など貴重な刊本も。また展示資料に関する研究書や複製本などを手に取って鑑賞するコーナーもある＝写真。作品の解説を聴くヘッドホンによる音声ガイドも行っている。5月29日（火）まで。

同19日（土）には生田キャンパスで講演会が開催される。

テーマと講師は▽「西洋写本と文化の伝承」講師：松下知紀・専修大学文学部教授▽「『薔薇物語』の世界―夢とアレゴリー」講師：篠田勝英・白百合女子大学文学部教授。

問い合わせは専修大学図書館☎044（911）1274▽E-mail＝lib-somu@acc.senshu-u.ac.jp

〝世界にひとつ〟の魅力…展示の見どころ

松下　知紀　文学部教授

専修大学図書館は、日本有数の西洋写本の所蔵館として知られています。

今回、図書館の企画により、中世期にヨーロッパで作成された中英語版『ポリクロニコン（万国史）』や古フランス語の『薔薇物語』（羊皮紙写本と紙写本）など、世界でも重要な西洋写本の展示会が開催中です。この機会に、羊皮紙にニカワを混ぜたインクで書かれた本物の西洋写本を鑑賞してください。

1455年ごろのグーテンベルクによる印刷術以前は、全写本が写字生によってそれぞれ写されるため、世界にひとつしか存在しません。西洋古典やキリスト教関連書物が、写本という形態をとって長い間伝承されました。

今回の展示では、豪華な『ポリクロニコン』写本と2冊の有名な『薔薇物語』写本のほかにも、中世のサヴォイ公国で作成された華麗な『サヴォイ家時禱書』や、ジャンヌダルクで知られるフランス・ルーアンで作成された上品な『ルーアン時禱書』など、美しい彩色画の描かれた写本も展示します。

そのほか、中世の教会で実際に使用された『グレゴリオ聖歌集』写本も展示されます。また、世界で最も美しい写本といわれる『ベリー公の豪華時禱書』やジェフリー・チョーサーの『カンタベリー物語』エレズミア写本などのファクシミリ版と、専修大学所蔵の『ポリクロニコン』と『薔薇物語』写本のファクシミリ版などを展示します。

DVD絶賛販売中（購買会他）